

出席者

学校運営協議会委員(4名)

教頭、小学部主事、中学部主事、教務課長

(1)教頭あいさつ

・昨年度も地域の方に支えられながら、たくさんの経験を積むことができた。子どもたちの成長には地域の協力が欠かせないものとなっている。

磐田分校の取組に御助言をいただき、今後の学校運営、教育活動に生かしていきたい。

(2)任命書交付

(3)委員・職員自己紹介

(4)会長及副会長選出

・学校運営協議会設置等に関する規則により、委員の互選により選出

(5)学校参観

・国語・算数(数学)の授業を参観

(6)協議

ア 令和6年度学校経営方針、各学部の学部経営について

・令和6年度学校経営計画、各学部の経営計画に沿って説明(教頭、学部主事)

イ 地域、いわがく応援団とのつながり活動について

<質問・意見・感想>

委員……教員と児童生徒とで行う防犯教育についてどのような取り組みをするのか。

教頭……不審者対応訓練を教員のみで一度実施し、警察の方からアドバイスをいただいた後に、子どもたちがいる時間帯で不審者が来校したことを想定した訓練を今年度は実施する予定。

いくつかのケースを想定して実施する中で、教員間で誰がどのタイミングでどのように動けばよいのかということ、シミュレーションを通して確認していくことができればと考えている。

委員……地域とのつながりの充実について、富士見小とはどのような交流を行っているのか。

小主事…コロナ禍だったということもあり、ここ数年は直接的な交流が滞っていたが、昨年度から再開している。

- ・出前授業という形で学校職員が出向いて分校（特別支援学校）の紹介をする。
- ・児童は、お互いそれぞれの学校まで行き、一緒に活動をする。（遊ぶ。）
- ・今年度も同じような取り組みを計画しているが、授業交流という形での実施は行っていない。

委員……地域との交流にしても、夏祭り、秋祭り、文化(作品展)交流 すずらんの会等様々あるので、引き続き地域に溶け込んで社会になじんでいってほしい。

今年度の自治会の主な計画（分校・学園と関われそうなもの）として

夏祭り 7月13日夜6:30～ 公会堂横のふれあい公園にて開催

秋祭り 10月12,13日 学園グラウンドにて

地域周辺のごみ拾い…例年は6月ごろに行っているが、今年度は未定

ふれあい文化展 11月16日～24日 学校で制作した作品も展示

これ以外にも一緒に取り組みそうなことがあればお伝えしていく。

委員……いわがく応援団の活用について、今年度はどのように活用し、どのようにつながっていくか。

小主事…ひょうたん池を守る会やすずらんの会、読み聞かせ(図書ボランティア)などは今年度も定期的に交流をさせていただいている。

中主事…繰り返しの関わり、取り組みによって、子どもたちの相手との関わり方や学習に向かう姿勢が育ってきている。

今年度も外部の様々なところとつながって、学校だけでは学ぶことができないことを経験していけるとよい。

教頭……磐田学園には一番応援してもらっている。学習の発表会や報告会の参観やマイクロバスの利用、日々の柔軟な対応など、子どもたちの成長には欠かせない大切な存在。

委員……人権を守る意識と行動力の向上について

子どもの意見を吸い上げる難しさがあると思います。学園、分校と歩調を合わせて見守っていくことが大切ですね。

委員……様々な障害、様々な状況によって、磐田学園に入所し、分校に通っている児童生徒への教育ということで、磐田学園をはじめ、様々な機関と連携を密にして進めていくことが大切であると思いますが、関係機関との連携の強化というところで特に重要だと感じているところは。

中主事…進路決定を早めに進めていきたい。そのためには学園、特に児相との連携の強化は必須である。学校としては様々なケースを想定した転出の流れについての確認とそれに関わる情報の発信と共有を進め、スムーズな連携のもと、児童生徒にとって最適な進路につながるよう支援していきたい。

委員……将来に向けての進路の方向性については、中学部の段階で決めておかないと、見通しが持てないまま卒業を迎えてしまい、行く場所が無くなってしまおうと思われる。

特に高等部への進学という事を考えるのであれば、中学部の卒業を待たない段階で保護者の居住する地域への転出(転校)ということも考えて、早めに進めていく必要があるでしょうか。

教頭……特支級が妥当であるという児童生徒も分校に通っているケースも含め、違う校種へ転出するケースや分校に来る前の校種から違う校種へ転出する場合など、手続きの段階に違いが生じるため、ケースによって様々な手順があることを児相にも知ってもらいながら、準備を進めてもらいたい。

小主事…分校に入学する前の就学判定でどのような判断をされているかによっても、転出の際の手続きの手順に違いが生じることがあります。

教頭……様々なケースにスムーズに対応していくためにも、進路決定については早め早めに動いていけるとよいと思っています。

○第1回コンプライアンス委員会

- ・今年度の不祥事0を目指した取組について説明

<質問・意見>

委員…先生方の心のケアを大事に。施設併設による、様々な障害や事情をもった児童生徒に寄り添いすぎた指導を行うと、自分自身が苦しくなってしまうことも。

委員…先生方が抱える不安や気が付いたことを共有できるようにしていけるとよい。

教頭…職員同士で話し合う場を設定し、児童生徒への指導で大切にしていることやお互いが気を付けていることなど今後も共有できるようにしていく。